

大田圏域(林業)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率				達成状況	
			項目名	H24目標	H24実績	単位		達成率
大田-1	集約化木材生産実践プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト担当者間で、理想的集約化木材生産団地の形は共有できた。 集約化された木材生産団地で低コストで木材生産を行うために必要な、路網整備と作業システムの検討及び現場技術者の育成については、今後も引き続き協議を重ねながら、成果を得ていく必要がある。 	木材生産団地からの針葉樹原木生産量	13,000	18,350	m ³	141%	達成
			集約化木材生産モデルの設定	0	0	団地	—	—
			施業提案書の提案件数	28	61	件	218%	達成
大田-2	松資源有効活用推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 松の伐採団地を大田市内に1団地設定し、伐採から出材の流れができた。 川下側の活動では、県外での販売活動、新商品の開発、地域型住宅ブランド化事業への参画や若手勉強会開催による工務店や製材所同士の連携など種々の活動がスタートした。 	松製材品県外出荷量(上段は原木換算量・下段は製材品量)	1400 (700)	1750 (875)	m ³	125%	達成
大田-3	邑智郡産木材の県外販路開拓プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 広島でのリフォーム市場開拓の足掛かりとするため、広島郷土会をターゲットに、プロジェクトのPR、郡産木材モニターハウスの募集、郡産木材リフォーム完成見学会等を行った。 大阪・広島既存ルート拡大のため、需要調査を行うとともに、新商品「3層パネル」の商品化に向けた取り組みを進め、3層パネルの製造・販売開始を決定した。 連携体制を構築するため、経営アドバイザーの診断、指導、事業計画書の提案を受け、より実効性の高い組織体制の構築に向け検討を進めた。併せて、原木安定調達のための検討、試験的な取組を行った。 	製材品県外出荷量	1,250	1,950	m ³	156%	達成
大田-4	邑智郡菌床しいたけ産地競争力強化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> これまでJA島根おおちは市場のみに出荷していたため、低迷する市場価格に伴い収益は減退していたが、PJの取り組みにより生協を初めとした新規販路の開拓等、今後の展望につながる可能性のある成果をあげることができた。 一方で、未だ販売高・販売数量増に結びついていない。H24年度当初に邑智郡菌床しいたけ生産組合川本支部が解散したことが、販売高と販売数量を一層厳しくしている。 各成果指標の平成24年度目標を下回った。次年度目標が達成ができるよう、新たな販路開拓と徹底的なコストダウンによる収支改善等さらなる対策が必要。 	菌床しいたけ販売高	147	87	百万円	59%	未達成
			菌床しいたけ販売数量	178	104	t	58%	未達成